

登録コード	A3591393	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅰ					担当教員	若林 剛志
英文授業名	PresentationⅠ						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、効果的に発信できる能力を修得している。
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、効果的に発信できる能力を修得している。
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、効果的に発信できる能力を修得している。
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、効果的に発信できる能力を修得している。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターなどの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。 なお、最終回の最後の15分に授業アンケートを実施する予定。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文や自分自身の研究データについて、スライド等を用いて発表する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦めます。内容を伴う分かりやすい資料作成はもちろんですが、そ資料の解説および質疑応答に対処するためには、発表しようとする専門的内容そのものに関する日常的な学習が重要です。時間をかけて掘り下げるようにして下さい。						
(7)成績評価の基準	プレゼンテーション資料の内容、理解のしやすさ、解説の的確さ、質疑応答への対応を総合的に評価します。						
(8)事前事後学習の内容	・事前学習は自主学習の指針に基づいて行う。また必要に応じて、指導教員や先輩学生のサポートを求める。 ・事後学習は、批評レポートに基づき、自身のプレゼンテーションの良かった点と改良の余地があった点を理解する。						
(9)テストやレポートの予定	ありません。						
(10)成績評価の方法	90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とします。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	適宜、質問や相談に応じます。						
(12)履修上の注意	やむを得ない事情がある場合を除き、出席が2/3に満たない受講者には単位を認定しません。						
【教科書】	特に指定しません。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）						